

【ご 案 内】

『阿波古代史講座』

当**古代史塾**では、上記講座を次のとおり実施します。ご興味のある方は下記の申込方法によりお申し込み下さい。（※ 古代史に関心のある方にもお勧めいただければ幸いです。）

- 講座内容：**考古学、魏志倭人伝、古事記・日本書紀、万葉集等の資料**をもとに、**邪馬台国時代から平城遷都までを通して阿波説（岩利大閑説）に基づき古代皇都阿波と全国進出について**解説いたします。

（※ 「岩利大閑説」とは、「道は阿波より始まる」の著者の説のことです。）

- 講 師：**古代史塾 藤 井 榮**
- 開催日時：（原則）**毎月第3土曜日**（会場予約が取れない場合は事前に周知）
午後1：30～4：00（途中10分休憩）
- 開催場所：**徳島市立考古資料館**
（所在地）〒779-3127 徳島市国府町西矢野字奥谷10番地の1
（電 話）088-637-2526
- 受講料：**初回5,000円**：テキスト・資料代（初回受講料を含む）
2回目以降は、その都度500円

※ 20歳未満の方は初回2,000円（2回目以降は200円）

※ 資料準備の都合上、**3日前まで**に出席の旨、電話・ショートメールにてご連絡下さいますようお願い致します。

【 申 込 方 法 】

- (1) 直接、講座運営者の講師（藤井 榮）までお電話下さい。
（携帯番号：090-5148-6958）
- (2) その際、**お名前とお電話番号・ご住所**をお訊かせいただきます。
（∵ 講座に係る連絡にのみ利用のため）
- (3) 次に、連絡事項を申し上げます。
- (4) 申し込み手続きは、以上で完了です。

（注）講座について考古資料館に問い合わせても答えてくれませんのでご了承下さい。

（作成：藤井 榮）

お 知 ら せ

弥生3月、梅咲きて桃・桜待たれる今日この頃、皆様には如何お過ごしでしょうか。本県でも新型コロナウイルス感染拡大が続いており、何かとストレスの絶えない日々が続いております。

さて、私この度「**古代史塾**」を立ち上げ、従来の「阿波古代史入門講座」を4月から「**阿波古代史講座**」と改め、次のとおり実施致します。

別紙チラシをご覧ください、ご興味がおありでしたらご出席頂ければ幸いです。

ご出席頂ける場合は、末尾記載の**携帯電話 or 携帯ショートメール or パソコンメール**にてご連絡いただければ幸いです。

毎月（毎回）ご出席頂かなくても、ご都合の付く月（回）だけ、またご興味のあるテーマの回だけご出席頂いてももちろん結構です。（テーマは事前に予告）

なお、ご出席頂ける場合は、**資料準備の都合上、講座開催日の3日前までにご連絡**を頂ければと思います。

1 開催内容

別紙「**ご案内『阿波古代史講座』**」（黄色チラシ）のとおりに

（※ 4月からは場所を「徳島市立考古資料館」へ移し、開催日時も原則毎月第3土曜日午後1：30～4：00に変更致します。）

2 参加費用（※ 20歳未満の方は、初回2,000円（テキスト・資料）、2回目以降は200円）

(1) 【初めての方】 **5,000円**（初刷り冊子124頁）／補助テキスト（小冊子52頁）／補助資料集（43頁）／初回受講料（※ 2回目以降は、ご出席の都度500円）

(2) 【再受講の方】 **ご出席の都度500円**

※ 毎回全出席者に資料を配布させていただきます。

- | |
|--|
| <p>① テキストのカラー冊子（地図・写真入り：2,500円）は今後改定の予定はありません。今回ご購入いただくと次回からのご負担はありません。</p> <p>② 事情により講座を受講しない（出来ない）方でテキストのカラー冊子ご入り用の方はご連絡をいただければ対応させていただきます。</p> <p>③ 同趣旨から講座各回の録画DVD・BD（1枚500円）も販売致します。</p> |
|--|

3 新型コロナウイルス感染対策

毎月講座開催日の朝ご自宅で検温をしていただき、**37.5度以上の方はご出席をご遠慮**下さいますようお願い致します。

また、**会場に入室される際、マスク着用の確認と改めて検温・手指の消毒**を実施させていただきますのでご協力のほど宜しくお願い致します。

（※ この検温で37.5度以上の方は入室をご遠慮頂くことになります。）

4 その他

① 今回お送りした**文書等は、4月16日（土）の開講時にお持ち下さい。**

② 第1回目は全出席者の方々と教材・代金のやり取りに時間を要しますので、定刻**午後1時30分より早め**にお越し下さいますようお願い致します。

なお、所要時間節約のため**代金はお釣りの要らないよう**ご準備をお願い出来れば有り難いです。

以上、ご理解ご協力のほどどうか宜しくお願い申し上げます。

以 上

令和4年3月吉日

古代史塾 藤井 榮